

令和4年度新規採択(着工)

令和7年度 第1回計画変更

農業競争力強化農地整備事業

草地畜産基盤整備事業(草地整備型【公共牧場整備事業】)

計画変更概要書

幌内第2 地区

北海道才ホツク総合振興局西部耕地出張所

幌内第2地区 事業変更計画概要書

(2) 農業用 用水路	事業種	区分 項目 名称	現 計 画		変 更 計 画		変更の有無
			延長(m)	受益面積 (ha)	延長(m)	受益面積 (ha)	
(3) 農業用 排水路	事業種	区分 項目 名称	現 計 画		変 更 計 画		変更の有無
			延長(m)	受益面積 (ha)	延長(m)	受益面積 (ha)	
(-4) 農業用 道路	事業種	区分 路線名	現 計 画		変 更 計 画		変更の有無
			延長(m)	構造	延長(m)	構造	
(-5) 農地保 全等施 設	事業種	区分 名称	現計画		計画変更		変更の有無
			受益面積(ha)		受益面積(ha)		
(-6) その 他改 良保 全	事業種	工事種類	現計画		計画変更		変更の有無
			受益面積(ha)		受益面積(ha)		
区 画 整 理		336.2	328.7	有			
		316.5	311.1	有			
		316.5	311.1	有			
		99.8	104.2	有			
		150m	150m	有			
		19.7	17.6	有			
		19.7	17.6	有			

3. 事業費					
区分 事業種	現計画 (千円)	変更計画 (千円)	増減 (千円)	増減の内訳 (千円)	変更の有無
区画整理	687,300	667,914	△ 19,386	自然 増 減 工法変更 事業量変更 その他	95,200 △ 114,586
				自然 増 減 工法変更 事業量変更 その他	
				自然 増 減 工法変更 事業量変更 その他	
				自然 増 減 工法変更 事業量変更 その他	
				自然 増 減 工法変更 事業量変更 その他	
				自然 増 減 工法変更 事業量変更 その他	
				自然 増 減 工法変更 事業量変更 その他	
				自然 増 減 工法変更 事業量変更 その他	
				自然 増 減 工法変更 事業量変更 その他	
				自然 増 減 工法変更 事業量変更 その他	
				自然 増 減 工法変更 事業量変更 その他	
				自然 増 減 工法変更 事業量変更 その他	
計	687,300	667,914	△ 19,386	自然 増 減 工法変更 事業量変更 その他	95,200 △ 114,586

II 変 更 後 の 概 要	1 目的 本地区は、飼料生産基盤は重粘質土壌であり、また経年化による排水不良や當農作業等による地盤硬化、耕地面の起伏が酷い状況となっており、牧草地の生育不良・裸地化が進行しその生産機能が低下、収量の維持が喫緊の課題となっている。また、高齢化に伴い離農農家が増え、酪農家戸数が減少したことでも当面の課題は増加傾向にあり預託要望の意識は高まっているが、本地区は、良質な粗飼料確保に不安がある上、牧場利用施設についても施設規模の拡大が困難でないため、地域農家からの要望に応えることが出来ずになっている。 そのため、本事業の実施により、粗飼料生産の低下をきたしている当該公共牧場の草地整備等を行い、飼料自給率の向上を目指し、牧養力を高め酪農畜産農家の育成部門の省力化と生産コスト低減により経営の安定化を図るものである。					
	(1) 地域の所在	紋別郡雄武町				
	(2) 地域の現況					
	ア 地 形	台地、丘陵地				
	イ 地 質	重粘土				
	ウ 土 壤	褐色森林土、灰色台地土、グライ台地土				
	エ 気 象					
	平均 気 溫	5.7 ℃				
	平均 降 水 量	864.8 mm 積雪深 133cm 平均降水日数 125日				
	根雪期間	12月1日～4月7日 無霜期間 5月1日～10月27日				
3 基 本 計 画	オ 水利状況	幌内川、音福川の主要河川が、オホーツク海に注いでいる。				
	カ 耕農状況	本地区は、酪農を主体とする農業経営が行われている。				
	キ 地域環境の概況	本町の地質基盤は土質が重粘土であるため排水不良であり、保水力も弱いため冠水や旱魃の被害に見舞われることがある。夏季にはオホーツク海高気圧の影響を受け気温が上がり度々冷害となる厳しい気象条件下にある。				
	(3) 地積及び戸数					
	地目	田	畠(牧草)	山林		計
	戸数	(ha)	(ha)	(ha)		受益戸数 (戸)
	全体	現況	311.1	17.6		328.7 1
		計画	328.7			328.7 1
	(1) 事業計画内容 公共牧場の生産基盤を整備することで、生産性の向上及び預託受入頭数の増加につなげ、地域酪農家の労働力負担の軽減、経営の省力化、安定化を目指す。					
	(2) 環境との調和への配慮 本地区は雄武町田園環境整備マスターplanの「環境配慮区域」及び「環境創造区域」に位置付けられている。整備にあたっては、施工時期及び施工方法の検討を行い、周辺の野生鳥獣や河川環境への影響を極力軽減・回避するよう配慮する。					
4 工 事 又 は 管 理 要 領	主要工事 計 画	事業種		受益戸数 (戸)	受益面積 (ha)	事業量及び事業内容
		区画整理 草地整備改良 関連草地造成改良		1 1	311.1 17.6	起伏修正 I 311.1ha 暗渠排水 104.2ha 管理用道路 150m 草地造成 I 17.6ha
	造成又は改良 される施設の 管理方法等	施設名		管理団体名	管理方法	

NO.3

換地計画の要領	5	(1)換地計画樹立の必要性 該当なし							
		(2)換地計画樹立の基本方針 ア 従前の土地の地積の基準 該当なし							
		イ 農用地集団の方法 換地区 地帯別、グループ別団地の設定 個人別換地の方法 位置選択 1戸当たりの目標団地数 区画畔の取り扱い							
		該当なし							
		ウ 非農用地の換地方針 換地区 種類 非農用地区域の位置の概略 面積 换地の手法 换地取得予定者 その他 該当なし ha							
		エ 清算の方法 (3) 土地改良法第5条6項に規定する国有地等の編入承認に係る地積 換地区 機能交換に係る土地 一般公有地 合計 国有地 道有地 市町村有地 計 ha ha ha ha							
		該当なし ha ha ha ha ha ha							
		(4)換地処分の時期に関する特則 該当なし							
		費用の概算	6	事業種 事業費 千円 (負担割合) 区画整理 667,914 333,957 166,979 166,979 計 667,914 333,957 166,979 166,979	負担区分 国 道 地元 千円 千円 千円 (50.0) (25.0) (25.0)			工期 R4～R8	関連事業費 備考

効用	7	(1)事業効果 効果項目 農産物等生産 営農経費節減 維持管理費節減 国産農産物安定供給 その他 計 千円 年総効果(便益)額 73,047 12,487 -109 35,489 - 120,914 現況年総農業所得額 - - - - - - 年総増加農業所得額 - - - - - -						
他事業との関係	8	(2)事業の効用 項目 地区全体 区画整理 備考 総便益額 ⑧ 2,521,373 2,521,373 総費用 ③=①+② 756,700 756,700 総費用総便益比 ⑨=⑧÷③ 3.3 3.3 総所得償還率 ⑩=④÷⑥×100 - - 増加所得償還率 - - -						
他事業との関係	9	計画(変更)概要図 別図のとおり						
		(2)農業部門外の事業との関係及び調整方法 該当なし						
他事業との関係	10	その他 該当なし						

草地畜産基盤整備事業（草地整備型）公共牧場整備事業

北海道 幌内第2地区 区画整理 変更説明図

縮尺 1 : 15,000

